

英語科学習指導案

- 1 日時 平成27年6月5日(金) 第2校時
- 2 学年 2年1組 男子20名 女子20名 計40名
- 3 指導者 池田 深索
- 4 単元名 NEW HORIZON English Course 2 Unit 2 A Trip to New Zealand

5 単元について

(1) 教材観

本単元は、登場人物の一郎が、予定していたニュージーランドへの旅行を通して、現地で見えた景色や動物について紹介している内容である。具体的には、ALTのブラウン先生と生徒の一郎とさくらのゴールデンウィークの予定についての対話、空港での一郎と係員による入国審査の対話、一郎によるエグモント山の紹介と説明、一郎によるニュージーランドに生息するキウイの説明という単元構成になっている。言語材料としては、[be going to + 動詞の原形]を用いた未来表現や[主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語]を用いた表現、[主語 + 動詞 + 目的語 + 補語]を用いた表現が扱われている。また、「相づちをうつ」「説明する」「発表する」「描写する」等の言語の働きを持った表現が扱われている。これらの言語材料を用いて、相手の意向を取り入れながら、様々な場所や人、物について紹介文を書いたり、プレゼンテーションを作成したりすることが可能である。よって、本単元は、ALTの先生や本校が交流している台北教育大学の実習生に鹿児島島の観光地を紹介したいという意欲をかきたてる題材であると考えられる。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、英語が好きな生徒が多く、スピーチやスキット作成の活動等に意欲的に参加する姿や、ペアやグループでの活動に積極的に取り組む姿勢が見られる。また、英語を使って話することに興味を持っており、自分の英語が相手に伝わった時に充実感を得ている。

アンケートによると、生徒は、英語の4技能において、「話すこと」に重要性を感じており、実際のコミュニケーションの手段としても「話すこと」が中心になると考えている生徒が多い。しかし、一方では、即興的に英語を使用することに不安を感じている。これまでは話す内容を事前に書き、正確な英語を使用する準備をしてから話すという手順を踏んで活動を行っていた。そのため、即興的な言語活動においては、生徒が語彙や文構造の正確性に不安を抱えたり、話す内容を整理したりすることに難しさを感じている。そこで、身近で簡単な題材について英語で会話をする活動を継続して取り入れ、話した内容を書いてまとめ、英語の正確さを確認することで、自信を持って即興的なコミュニケーション活動に取り組めるようになることを考える。また、インターネット電話等を用いて実際に英語でやり取りをする場面を設定し、これまで積み重ねてきたことを生かせるような機会を設け、生徒に達成感と充実感を味わわせ、自信につなげていきたい。しかし、生徒の中には、英語を苦手としている生徒もおり、英語の力にも個人差があることから、グループにおける協働的な活動を取り入れていく。その中で、すべての生徒に役割を与え、責任を持って活動しなければならない状況を作り出したい。また、同じ役割を持った生徒同士で活動することで、生徒が安心感を

持って言語活動に取り組めるようにする。そうすることで、生徒が互いに協力し、自信を持ってコミュニケーション活動に取り組み、知的コミュニケーションがさらに活性化できると考える。

さらに、アンケートの分析から、生徒は読んだり聞いたりした英文を更に深く読み取ろうとする姿勢が見られる。これは、実際のコミュニケーションの場面で相手の国やその文化、興味や関心などを意識することにつながると考える。しかし、アンケートの結果を見ると、生徒は表面的なこと以上の内容を読み取ったり、聞き取ったりしようとするが、文化的、社会的背景を踏まえて的確に理解するまでにはいたっていないことが分かった。そこで、本単元を通して、与えられた語句や文を繰り返すだけでなく、書かれたり話されたりした英語から様々な情報を収集し、それらを持ち寄って、自分の考えなどを話すことを重視し、生徒に創造的な視点を持たせることで、よりよい一つのものを創り出すことができると考える。

(3) 指導観

本単元の題材の特性を生かし、生徒が、本校が交流している台北教育大学の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを作成することができるような授業を展開したい。具体的には、教科書の内容を中心に、small tasks を通して観光地を紹介したり説明したりするための言語材料やプレゼンテーションの原稿のつくり方や資料提示の仕方を理解させる。また、各時においては、ペアやグループで協力し、様々な情報を組み合わせながら、伝えたい内容を改善し、よりよいものをつくる活動に取り組ませる。そして、「ニック先生に鹿児島市内観光の紹介しよう」という middle task において、ALT のニック先生の意向を取り入れ、相手を意識したコミュニケーションを行う経験を積ませたい。その際、ジグソー学習を取り入れ、メンバー全員に明確な役割を与え、責任感を持って活動に取り組ませたい。また、生徒の実態に合わせながら段階を踏んで活動に参加出来るようにしていきたい。さらに、メンバー全員の意見が反映された内容にすることで、全員に充実感、達成感を味わわせられるように指導する。その後、それまでの経験を生かし、large task の「台湾の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう」という活動にスムーズに取り組めるようにさせたい。

このような指導を通して、互いに認め合ったり協力したりしながら責任感をもって活動できるような協働的な言語活動を授業の中で取り入れることで、グループ全員でよりよい考えや意見を創り出すことにつながり、国際的な視野をもち、円滑にコミュニケーションを図ろうとする生徒を育成できると考える。

【アンケート結果】 (アンケート対象者：2年1組 男子20名 女子20名 計40名)

1 次の英語の活動で最も興味があるものを一つ選び、その理由も書きなさい。		
ア	話すこと (理由：書けても話せなければ将来役に立たないから、英語ができると実感できるから、外国人の人と話してみたいから など)	35.0%
イ	書くこと (理由：単語や文法を覚えられるから、発音などを気にしなくていいから、暗記が得意だから など)	30.0%
ウ	聞くこと (理由：聞くことで英語が分かりやすくなるから、リスニングは楽しいから など)	20.0%
エ	読むこと (理由：話の内容が気になるから、英語だけの本が読めるようになりたいから、英語らしく読めることにあこがれているか など)	15.0%
2 次の英語の活動で苦手と感じたり、不安に思ったりしているものを一つ選び、その理由も書きなさい。		
ア	聞くこと (理由：音が変化したり消えたりすると聞き取れないから、発音に慣れていないから など)	35.0%
イ	書くこと (理由：単語が覚えられなかったり、文法が合っているか不安に思ったりするから、語彙力が足りないから など)	32.5%
ウ	話すこと (理由：パッと英語が思いつかないから、すぐに返事ができないから、どのように話していいのか分からないから、発音が難しいから など)	27.5%
エ	読むこと (理由：分からない単語が出てくると理解できなくなるから、読むスピードが遅いから など)	7.5%
3 話し合い活動の中であなたが大切にできていないと思うものはどれですか。一つ選んで理由も書いてください。		
ア	自分が伝えたいことを整理し、しっかりと説明できること (理由：発言をすることに恥ずかしさを感じるから、自分の伝えたいことを整理するのが難しいから など)	35.0%
イ	全員の意見や考えが反映されていること (理由：一番良い一人の意見を重視してしまうから、全員が納得するのは難しいから、意見を主張できる人の意見がグループの意見になるから など)	27.5%
ウ	リーダーがしっかりと活動を進めていくこと (理由：リーダーではない人が進めていることがあるから、みんなの意見をまとめられていないから、リーダーシップのある人がいないから など)	25.0%
エ	他の生徒の意見をしっかりと聞くこと (理由：少し強めに意見を言ってしまうから、最初の人の考えを引きずってしまうから、よく理解しないまま次に進んでしまうから など)	12.5%
4 次の英文を読んで後の問いに答えてください。 He threw 3,000 yen bills at the window. She tried to pass him 1,500 yen. He wouldn't take it. Then, when the two of them went inside, she bought a big bag of popcorn for him.		
質問1：二人は今どこにいると思いますか。理由も含めて書いてください。		
	windowがあるから建物の中	45.0%
	お金のやり取りがあるのでお店の中や銀行	32.5%
	ポップコーンとあるので映画館	22.5%
質問2：二人はどんな関係ですか。理由も含めて書いてください。		
	お金をやりとりしているので兄妹や親子	45.0%
	店員(受付)とお客さん	42.5%
	お金の受け渡しができるほどの仲のカップル	12.5%

6 単元の計画

(1) タスク「台湾の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう」

(2) large task で活用させたい主な言語材料

言語の働き	学年・単元	教科書での表現
発表する	2年 WU 2年 U2-RfC	Hello, everyone. I'm Okada Ichiro. I'm going to tell you about kiwis.
描写する	1年 U10-① 1年 U10-② 1年 U10-② 1年 U10-③ 1年 U10-③ 1年 WP3 1年 WP3 2年 WU 2年 U2-RfC	The hills here are too steep. Wow, it's beautiful. But it's not golden. Look at the trees! They're very tall. Look at the lake! It's like a mirror. The Earth is so small. But London is a beautiful city. You can see me at the zoo. It looks like Mt. Fuji, but it's not. It's Mt. Egmont.

説明する	1年 U7-②	We're in San Francisco.
	1年 U7-③	They're fifty minutes long.
	1年 U10-②	That's the Golden Gate Bridge.
	1年 U10-②	The name comes from the Golden Horn in Turkey.
	2年 WU	This is an ice hockey jersey.
	2年 WU	Ice hockey is a popular sport there.
	2年 U2-RfC	People call it Taranaki, too.
	2年 U2-RfC	"Taranaki" means "shining mountain peak" in Maori.
	2年 U2-RfC	It's about 2,500 meters high.
	2年 U2-RfC	They live only in New Zealand.

(3) large task における活用例 (鹿児島市の観光地の紹介)

A : Hello, Emily. I'm Ichiro. You are going to come to Kagoshima in this summer, right? We have many good places to visit. So, we are going to show you a plan for a trip in Kagoshima.
B : I hear that you are going to come to Kagoshima on August 5th. And you can meet us on August 6th, right? Look at this map. Let's meet at Kagoshima - Chuo Station at 10:00 a.m. At first, we are going to take you to an old Japanese house. We call it Senganen. I know you are interested in Japanese history. So, you will like it.
C : After that, we are going to go to Kagoshima Aquarium. It looks like Opera House in Sydney. We are going to move there by bus. In Kagoshima Aquarium, You can see dolphins.
D : We are going to have lunch near Kagoshima Aquarium. There is a good sushi restaurant. After lunch, we are going to visit Mt. Sakurajima. It is a very popular active volcano and it's 1,117 meters high. We can go there by ferry. It takes about ten minutes.
A : After that, we are going to go back to Kagoshima - chuo Station. We are going to use a special bus. We call it City View. I think you will like the design of the bus. If you choose our trip plan, you can enjoy your stay in Kagoshima.

(4) 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
① 間違いを恐れず、積極的に市内観光のプレゼンテーションを発表しようとしている。 ② 様々な情報を持ち寄り、積極的によりよいプレゼンテーションを作成する活動に参加している。	① 既習事項を用いて、まとまりのある文章で観光地紹介を英語で話したり書いたりすることができる。 ② 相手の意向に沿った、市内観光の情報を伝えることができる。	① 既習事項を活用しながら、ニュージーランドの観光地紹介の英文を読み取ることができる。 ② 話したり書かれたりしている内容から相手の意向を理解することができる。	① [be going to + 動詞の原形] を用いた未来表現の文の形や意味、用法を理解している。 ② [主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語] を用いた文の形や意味、用法を理解している。 ③ [主語 + 動詞 + 目的語 + 補語] を用いた文の形や意味、用法を理解している。

(5) 指導と評価の計画

時間	○タスク ・ 学習活動	単元の評価規準	評価方法 (総括的評価)
1	○ [small task] 単元のあらましを理解しよう ・ Unit 2のスキーマ形成 ・ large task の設定 ・ 鹿児島市の観光地を紹介するために必要な情報等の収集 ・ プレゼンテーションの仕方の理解		

2	<ul style="list-style-type: none"> ○ [small task] 週末の予定について話そう ・ Starting Out の内容理解と音読練習, [be going to + 動詞の原形] を用いた未来表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 週末の予定を紹介する文の作成と発表 ・ 市内観光のプレゼンテーションに用いる文の作成 	イー① エー①	後日ペーパーテスト
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ [small task] 空港でのスキットを作ろう ・ Dialog の内容理解と音読練習, 「主語 + 動詞 + 間接目的語 + 直接目的語」や観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 空港でのスキットの作成と発表 ・ 市内観光のプレゼンテーションに用いる文の作成 	エー②	後日ペーパーテスト
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ [small task] 鹿児島市内の観光地紹介の原稿を作ろう ・ Reading for Communication の内容理解と音読練習, 「主語 + 動詞 + 目的語 + 補語」や観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 市内観光のプレゼンテーションに用いる文の作成 	ウー① エー③	ワークシート 後日ペーパーテスト
5	<ul style="list-style-type: none"> ○ [small task] 鹿児島市内の観光地を紹介しよう ・ Reading for Communication の内容理解と音読練習, 観光地紹介に必要な表現の形, 意味, 用法の理解と表現練習 ・ 鹿児島の観光地紹介のナレーションの発表 	アー① イー②	活動の観察 後日ペーパーテスト
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ [middle task] ニック先生に鹿児島市内観光の紹介をしよう ・ 既習の言語材料を用いたプレゼンテーションの発表 ・ ニック先生の意向が書かれた英文の読解, プレゼンテーションの修正 	アー① イー②	活動の観察 プレゼンテーションの原稿
▶ 7	<ul style="list-style-type: none"> ○ [large task] 台湾の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう。 ・ ビデオ視聴やメールの読み取り, インターネット電話を用いた情報収集 ・ よりよい市内観光のプレゼンテーションの原稿の作成 	アー② ウー②	活動の観察 プレゼンテーションの原稿
8	<ul style="list-style-type: none"> ○ [large task] 台湾の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう。 ・ 市内観光のプレゼンテーションの完成と発表練習 	アー① イー②	活動の観察 プレゼンテーションの原稿
9	<ul style="list-style-type: none"> ○ [large task] 台湾の実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう。 ・ インターネット電話を利用したプレゼンテーションの発表 	アー① イー②	活動の観察 市内観光のプレゼンテーション

7 本時の計画

(1) 本時のタスク

「台湾からの実習生に鹿児島市内観光のプレゼンテーションを発表しよう」

(2) 指導の重点

「話すこと」「聞くこと」

(3) 本時の目標行動

導入時において、教師とのインタラクションを通して、日本と台湾との文化の違いに気付く。次に、台北教育大実習生の情報（手紙、ビデオレター、インターネット電話での質問）を理解し、それぞれ得られた情報を基に、実習生の意向に応えられるように、チームで協力して多様な考えを出し合いながら、それぞれの観光地紹介の内容を改善していく。授業の終末時には、実際にインターネット電話を活用して、台北教育大実習生に、どのグループの観光地紹介が最も魅力的か判断してもらう。その後、本時の学習内容を基に課題を確認する。

(4) 本時の指導目標

ア 互いに協力しながら持ち寄った情報を基に、よりよいプレゼンテーションを作成する活動に積極的に参加する態度を育む。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

イ 台北教育大実習生の意向に応えられるように、観光地紹介のプレゼンテーションを発表できるようにさせる。

【外国語表現の能力】

ウ 台北教育大実習生のメッセージの内容から、その意向を理解できるようにさせる。

【外国語理解の能力】

エ 観光案内のプレゼンテーションに必要な表現や文構造について理解させる。

【言語や文化に関する知識・理解】

(5) 授業設計上の工夫

ア 協働的な言語活動を充実させるための工夫

ジグソー学習（教科論6-(1)-ア-(ア)）

台北教育大実習生の希望に関する情報収集のための役割分担を行う。分担する情報の獲得のさせ方として①メール文②ビデオレター③インターネット電話を用いた質問の3種を準備する。生徒は、それぞれの情報の解釈をエキスパートグループの中で協力して行い、自分なりにメモをとる。その後、持ち寄った情報を組合せながら、観光地紹介文を改善させることで、他者の意向を捉えたよりよい観光地案内のプレゼンテーションを創造させる。

チームリーダーの育成（教科論6-(1)-ア-(イ)）

これまで学習してきたチームリーダーの役割（2年次研究冊子16ページ）「目標の共有化」「メンバー支援」「外部の活用」「進捗管理」について休み時間や放課後等も活用して指導し、主体的に課題解決が進められるようにさせる。

イ 国際的な視野をもたせるためのICTの活用の工夫（教科論6-(2)-ア）

生徒にとって身近な台北教育大実習生の鹿児島訪問を前に、観光地案内のプレゼンテーションをさせることで、生徒の課題解決に向けた強い動機付けにつなげさせる。また、インターネット電話を通じて、その紹介後の選択を台北教育大実習生に直接してもらうことで、次時への学習意欲を継続させる。

ウ 知的コミュニケーションを活性化させるための工夫（教科論6-(1)-イ-(ア)）

「相手意識」を高めさせるための課題文作成の工夫

魅力的な観光地紹介になるように、これまで工夫・改善を重ねてきた生徒に対し、台北教育大実習生からの情報を与えることで、相手の意向に応えようとさらに紹介文を改善させる。その過程において、どのような表現を用いるかなどについて各チームで合意形成がなされる。そのような活動を通して、「相手意識」を高めさせることで、知的コミュニケーションの活性化を図らせた。

(6) 本時の実際 (7/9)

区分	教授=学習過程	時間	生徒の活動	指導上の留意点 ◆評価 □補説 (研究との関連)
導入	Start	10'	1 英語で挨拶する。 2 台湾と日本の文化に関するインタラククションを行う。	<ul style="list-style-type: none"> 英語学習の雰囲気を作る。 本時のタスクとの関連を意識させる。
	Greetings 1 Warm up 2			
展開	Grasping Task 3	35'	3 台北教育大実習生のメッセージを知り、本時のタスクを把握する。 鹿児島市内観光のよりよいプレゼンテーションを作成しよう。	<ul style="list-style-type: none"> タスクに対する自己効力感をもたせる。(教科論6-(1)-イ(ア))
	Expert Work 4		4 エキスパートグループに分かれ、内容を確認し、実習生の意向を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 獲得した情報をできる限り英語で復元できるようにメモさせる。
	Home Group Work 5		5 獲得した情報の内容に関する教師の質問に答える。	<ul style="list-style-type: none"> インタラククションを通して理解できるようにする。
	Check of Understanding 6		6 ホームグループに戻り、エキスパートグループで得られた情報を基に、プレゼンテーションの原稿を作成する。 (1)メンバーそれぞれの考えを基に話し合う。 (2)考えをひとつにまとめる。 (3)原稿を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> 協働して、改善に向けた合意形成を図らせる。(教科論6-(1)-ア(ア))
	Aux. Yes		◆ 獲得した情報を理解し、紹介文を工夫改善することができているか。 □ 再度、分配された情報の獲得に向かわせる。	
	Oral Practicing 7		7 チームリーダーを中心に、観光地紹介の練習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に、紹介の練習が進められるようにする。(教科論6-(1)-ア(イ))
	Presentation 8		8 観光地紹介のプレゼンテーションを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 台北教育大実習生の意向を理解し、適切に応じることができたか。 □ 再度、実習生の意向を確認させる (教科論6-(2)-ア)
	Aux. Yes			
終末	Evaluation 9	5'	9 本時の学習内容を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> 手紙の返事を書く際は相手の意向をしっかりと読み取ることが必要であることを確認させる。 本時の活動を次時に生かせるように見通しを持たせる。
	Assignment 10		10 今後の活動の見通しを持つ。	
	End			